


活動名						竹ばし											
概要		○竹の特徴を生かしながら竹ばしを創作する。															
ねらい		○竹の特徴を理解し、それを生かしながら創作する。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○楽しく活動し、創作の喜びを味わう。															
関連教科等		図画工作・家庭・総合															
指導形態		「自主活動で実施」「職員は活動の説明のみ行う」「職員が指導を行う」															
時期		通年		時間帯		日中		対象		高学年～							
場所		創作棟		人数		～70人／1部屋		所要時間		2～3時間							
準備物						施設で準備できるもの						団体・個人で準備するもの					
						材料、のこぎり、ナタ、小刀、サンドペーパー、木づち、マーカー、定規						なし					
進め方・展開例																	
内容						留意点											
活動前		○事務室で打合せを行う。 ○ねらい、活動の進め方				○職員の指導が活動の説明のみの場合は、説明後の進め方、片付け方を確認する。											
活動の説明		○竹の特徴や道具の取り扱い方を説明する。 ○作り方を説明する。				○刃物の取り扱いに十分注意させる。 ○小刀は、使うときだけ鞘から出し、自分の肩幅内で操作することを伝える。また、脇をしめて扱うよう指導する。											
展開		①班で協力して、竹を切る。 ②班の人数分のはしができるように、ナタで竹を割る。 ③小刀で竹を削って、はしの形をつくる。 ④サンドペーパーで磨いて完成。 ⑤片づけをする。				○役割分担をし、交代しながら竹を切る。											
まとめ		○活動をふりかえり、よかったことや楽しかったことなどを発表し合う。															
評価		○竹の特徴を理解することができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○楽しみながら作品づくりに取り組むことができたか。															
発展		○炊飯活動等と組み合わせることで、より一層つくる喜びは増すと考えられる。															